

INSPIRE No.9

イベント

第12回GSGミーティング

日時：11月7日（土）

時間：13:00 - 15:30

場所：神奈川県川崎市宮前区鷺沼1-18-11 ニューウェル206号室（東急田園都市線 鷺沼駅正面口 徒歩5分）

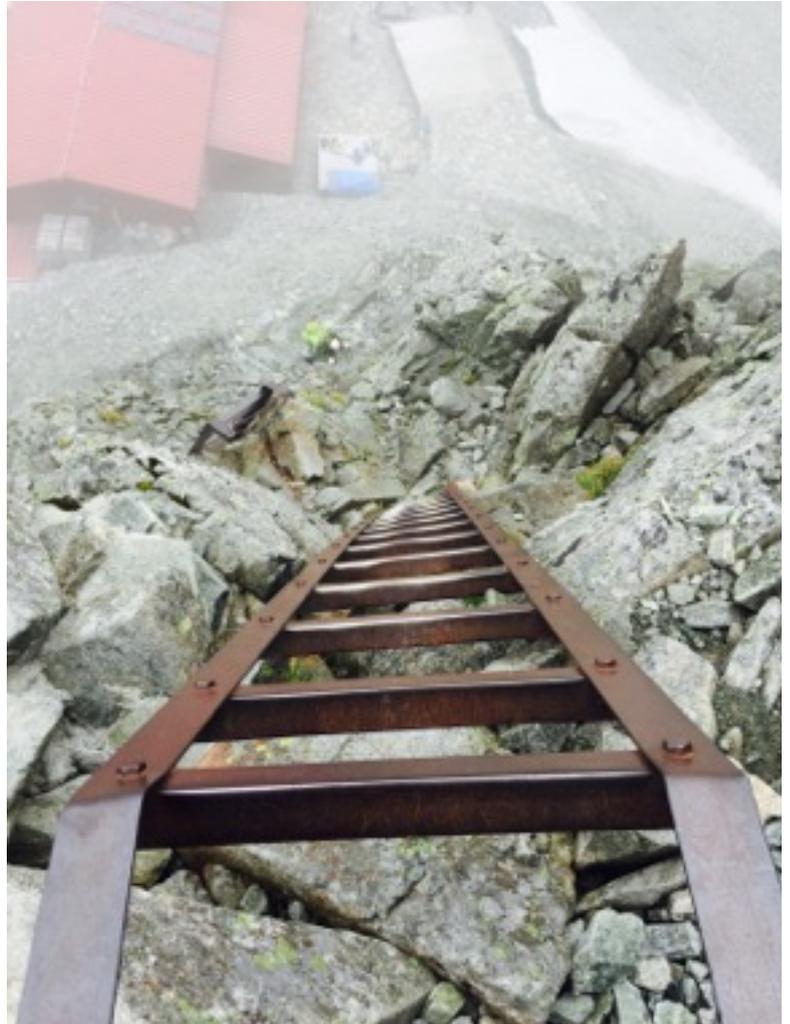
費用：5,000円

対象：先着10家族（子供参加可）

テーマ：今年最後のGSGミーティングは、ギフトティッドに関するチームビルディングゲームなどを楽しみながら、来年2016年のそれぞれのアクションプランを立てます。

申し込み：office@jagifted.org

日本ギフトティッド協会事務局



登山の基礎「3点支持または3点確保」

岩場やハシゴで使います。まず、落ち着いて、手がかり足がかりになる岩の突起や割れ目をみつけ、手足の4点がいずれも岩をとらえた状態から、いずれかの1点をだけを動かすようにします。これを「3点支持または3点確保」と言います。これをしないと滑落してしまいます恐れがあります。子供たちはいかがでしょうか。心理的な面で3点支持ができますでしょうか。学校、家庭が二つだとしたら、もう一箇所はどこでしょうか。子供が他の人に頼れるコミュニティーのメンバーになっていますか。常に3点支持があれば、子供たちはきっと自分のピークを目指す事ができると思います。



変わった素敵な人になろう！

クリニックに来ているお子さんの中で、「自分は駄目な人間だ。普通の人になりたい。」と
思っている人が多くいます。でも、「普通の人」って何でしょうか。誰が「普通の人」なの
でしょうか。「普通の人」って架空の人物では
ないでしょうか。

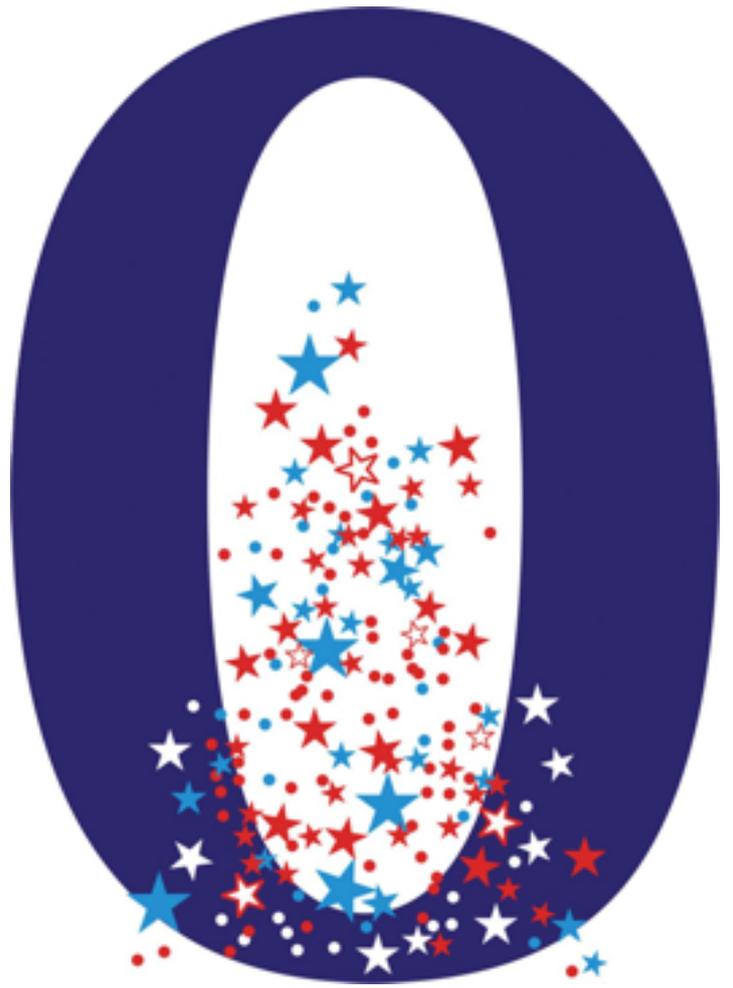
私は思春期の頃から「絶対普通の人嫌だ。
変わった人になりたい。」と熱望していました。
普通の人だったら、何の取り柄もないことにな
るじゃないですか。

なぜ「普通の人にならなきゃいけない」と思
う人がいるのでしょうか。親や教師が「この子
はここが他の子に比べて劣っている。せめて同
学年の子の平均ぐらいできるようになってほし
い。」と、思うからではないでしょうか。漢字
が覚えられない、友達付き合いが苦手、歯磨き
の習慣が身に付かない等、確かにできるよう
になったら、生きやすいとは思いますが、
人間は残念ながら急には変わりません。

自分の苦手な部分にばかり焦点を当てたら、「自分は駄目な人間だ」と自分をマイナスに捉
えてしまいます。普通の人間はプラスとマイナスで言ったら、ゼロです。駄目な人間がゼロを
目指したら、良くてゼロ、悪ければいつまでもマイナスなままです。いつになってもプラスに
はなれません。しかも、「普通の人にならなければならない」という義務感で思っても、や
る気にはなりにくいのではないのでしょうか。

私がお勧めしているのは以下のような方法です。今の自分をゼロと考え、「なりたい自分」
を目指すという方法です。その時に「変わった人でも構わない、逆に変わった人になりたい」
と思っても良いでしょう。苦手なことがあっても、それを上回る「素敵で変わったところ」
がある。そんな生き方はどうでしょうか。

「普通の人」なんて目指したって何の喜びにもなりません。皆さんも「普通の人」ではな
く、「変わった素敵な人」を目指してもみませんか。 — すくすくクリニック 新井



中学生日記

オレの興味は限られている。幼少期からの興味は、マンガとゲームとグルメの追求。うちのオカンはこの興味にとことん付き合ってくれ、いろんな所へ連れてってくれたのは正直ありがたかった。ていうか親も十分楽しんでるようにも思えたしね.....、まあ親孝行のうちだよこれも、ウン。

駄菓子菓子、遊びだけでは許してくれないオレのオカン。ヤツは鬼親だ。習い事もしっかりと挑戦させる。オレはあれこれ習いたいと挑戦しないタチなのに、幼少の頃にオカンが持ってきた習い事といえば、スイミング・空手・テニス・公文・お受験集団塾、どれも合わなかった。オレを理解しないでよくもまあ不向きでありきたりな習い事を並べたことか...。てゆーか子育て歴6年程度じゃ失敗もありえたかもだけど、どうせママ友から「○○ってイイよ」って言葉を鵜呑みにしたんじゃないか？超バカ親！ママ友の子が合うからって、オレに合うとは限んねえし。だから、おもいきり拒絶する。中途半端に続いたら勘違いするし、オレにはオレに合った習い事があるはず、うまく見つけるよな！まったくバカなオカン！最低！

以上、オレ 年長時代の心の叫びだ！

小1の秋、スイミング辞めて何年も経っていたのに、懲りずにまたスイミングを持ってきやがった。しかも、ここのテーマがひどい。

「足の届かない海で泳げてこそ本当に泳げる子ども。自分の命は自分で守る！今度の夏休みは日本海5時間遠泳大会に挑戦だ！

(日本財団新潟海洋クラブ)」

「な・な・なんじゃこりゃ—————
—————！」

なんと地獄の特訓日本海遠泳教室！ぶっ飛んでいる！鬼親マックス！しかもママたちで囁かれている都市伝説は、「日本財団新潟海洋クラブに入れる親は鬼親恐怖 誰も知らない謎のスパルタ式スイミングクラブ！」

そんな恐ろしいクラブに可愛いオレを入れるだとー？ありえねー！

駄菓子菓子、オレのオカンは鬼親だ、オレの意見も聞かずにもう入会してきただとさ！でもって意外と素直なオレ、最初は抵抗しない。海はキライじゃないし、まあいっちょやってみるとするか〜となったのだ。

中学生の今、当時を回想する。あれから8年、今やクラブ最年長メンバーになっていた。オレが5時間遠泳に合格したことで、オカンの一言「イイよ！」を鵜呑みにしたママ友軍団が、ドドドッと20人近くも入会してきた。鬼親はまるでネズミ講のトップ！オレに合ってもその子にあうとは限らないのに、ほとんどの子は不合格のまま、クモの子ちらしたように去っていった。

変わってる子、みんなと同じが出来ない子、ボーッとしてる子、大人びてる子、太ってる子、昔のオレを表現する数々の烙印。オレの超個性（ギフティッドと仮定しよう）を幼少時から理解するのはまず不可能だろう。でも、必ずサインは出てるから、親として見逃さないでほしい。

そして、その子に合った習い事、居場所を見つけてあげてほしい。相性のいい理解ある先生だってきっと見つかるはずだ。みんなと同じに足並み揃えなくてもいいんじゃないかな。

息子不在のため鬼親想像による代筆

「ワチャネームって素敵」 - 今瀬 博

ある年、ベトナムのサパという街にいた。サパには色々な民族の人達がいる。大抵、背中には大きな籠をしょい、子供連れだ。黒モン族の男性は畑仕事。そして、女性は街に出て、物を売るらしい。黒モン族の女性が私のところにきて、「ワチャネーム」「ワチャネーム」と聞いてくる。英語は書く物でも読む物でもなく、聞いて話すものらしい。英語が上手であるほど、観光者と話しができ、より物を売る事ができる。日本語英語の「ワットイズユアネーム」でなく「ワチャネム」と聞かれ、「ヒロ」と答えると色々な質問が飛んでくる。向こうは籠から色々な物を見せ、私に買えというが、旅をしている私にとって、買ったって持って移動しなくてはならないので、物を買う時は慎重だ。結局籠の中を全部みせてくれた。何も買う物がないと私がいっても笑顔でいてくれる。しかし、ここからが黒モン族の凄いところ。その日はサパの街をゆっくり歩きたかったのだが、黒モン族の女性軍団がついてくる。一緒に歩きながら、色々な質問を英語ですてくる。その間、その脇にいる子供たちは必死になって私達の会話に耳を傾けている。私とお母さんの会話をしっかり聞き、英語を学んでいる。街のはずれに来ただろうか。もちろん私は黒モン族の女性軍団と一緒にいる。「I am going to eat lunch now」といって、「See you later」と店に入ると、なんとドアの前に立ち、どこかに行くそぶりも見せない。店の外で待っている。まさかと思ったが、そのまさか。私が食べ終わるまで待っていた。そして、外に出ると先ほどの会話の続きが始まる。本当は一人でブラブラしたいが、そこは遠慮なしで、向こうは必死に会話をしてくる。面白い事に、途中、私に物を売る事もなく、そして、他の観光客に物を売る事もない。ただ私と歩いて話をするだけ。英語のレベルは非常に高く、驚かされる。きっとこのお母さんも、観光客と歩いているお母さんの横を歩き、英語を学んだのであろう。数時間の会話の後、私は黒モン族のホスト先の人と待ち合わせしている市場に行った。今までホームスティなどは色々な場所にいったが、黒モン族は初めて。非常に楽しみだ。なんと、市場から徒歩4時間のところらしい。続く.....

